お客様の声 Interview

コンプライアンス推進部 情報セキュリティ課 リーダー
原口 修 様
Osamu Haraguchi

戦略統括部 戦略企画課 リーダー
中野 周一 様
Shuichi Nakano

Gcom ホールディングス株式会社
1971 年に株式会社福岡システムマシーンズとして創業。福岡県を中心に、主に市町村向け住民情報システム（製品名：Acrocity）の開発と導入および運用保守を展開しています。市町村の事務改善に特化し、常に最新の技術を取り入れた製品やサービスを提供することにより、地域社会に貢献されています。

ニーズをしっかり把握し、最適の提案をされるTHKさんとは、ビジネスがスムーズに進みます。

Gcomホールディングス株式会社

Q 貴社がTHK製品を採用された経緯を教えてください。

市町村の住民情報システムを生業とする会社として、まず自社のシステムを止めないことが大前提になります。東日本大震災をきっかけに事業継続計画（BCP）を策定したのですが、その中でサーバーの地震対策が課題として残りました。アンカーで固定していたのですが、それでは不安だという声もあり、アンカーで済ますか免震化するかという議論になっていたところ、タイミング良くTHKさんから当社の計画と合致した免震化の提案をいただきました。最初は、当社のお客様である市町村の電算室に対する免震化のご提案に来られていたのですが、「実は社内でも免震を検討しています」とご相談させていただくと、こちらのニーズとTHKさんの免震装置の性能がちょうどマッチしたため、まずは当社のサーバー免震をTHKさんにお願いすることになりました。

Q 貴社が取引先に強く望むことは何でしょうか？

当然ですが、まずは品質の高さ。そして、導入後のサポートですね。サポートの対応が真摯かつスピーディであること。そういう点を重視しています。

また、直接商談をさせていただく営業の方が、我々のニーズをしっかり把握されているかどうかも非常に重要です。一方的に製品の説明ばかりする営業担当の方が非常に多く、それではこちらに何も伝わってきません。今回のお話も、我々のニーズとTHKさんの提案のマッチングが非常に良くスムーズにまとまったと思います。予算までしっかり考慮されて、我々のニーズを満たすソリューションをご提案いただいたと思っています。

Q 今後THKに期待することをお聞かせください。

今回のお取引で協働の足掛かりができましたので、今後は、いよいよ当社のお客様に対するアプローチですね。市町村が持っているサーバーへの免震導入で、タッグが組めたらいいと考えています。なぜなら、市町村のシステムが震災で止まってしまうと何万人という住民の方に影響が出てしまいます。当社は、地震対策としてお客様にシステムのクラウド化をご提案していますが、それが困難なケースもあります。そういうお客様に対しては、システムサーバー導入時の付加価値として、THK製免震装置を含めた提案をしていきたいと思います。

サーバーと免震装置